



『Q&A引用・転載の実務と著作権法』北村 行夫・雪丸 真吾 編 中央経済社 刊
 『特命! 目で聞け119番緊急通報』那之津 マイク 著 近代消防社 刊
 『竹馬練習百科』齋藤 仁 編・著 叢文社 刊
 『コロキパラン』たかどの ほうこ 作 のら書店 刊
 『不滅の子どもたち』クロエ・ベンジャミン 著 集英社 刊

出版物やコンテンツなど、他者の著作物を取り扱う際に浮かぶ疑問をQ&A形式で解説する。平成30年・令和2年改正に対応。

聴覚・言語障害者が円滑に消防へ通報を行える「Net119緊急通報システム」。どのようにして誕生したのか、小説形式で紹介する。

竹馬と三角竹馬の乗り方や、竹馬を使った体操、楽しく乗るための工夫などを写真付きで詳しく解説する。

公園で、バレンタインのチョコに添える似顔絵を描いている「わたし」。あるおじさんが、オルゴールを奏でると不思議な子どもたちが並びだしはじめ…。

マンハッタンに住むゴールド家の4兄弟は、幼い頃、近所で評判の占い師に自分が死ぬ日を告げられる。その後の4人がどう生きるのかを鮮やかに描く。

図書館だより ☎22-0002

Vol.192 「初貸出リターンズ」

2019年1月号のこちらのコーナーで「初読み・初貸出」というテーマを取り上げたこと、覚えていませんか。

その時は、平成30年度に受け入れて、一度も貸し出されなかった本を集めました。今回は、令和3年度に受け入れて、貸し出しがなかった本を紹介します。この機会にぜひ、初読者になってみませんか。運命の出会いがあるかもしれません。

おはなし会(絵本などの読み聞かせ)

毎週水曜日 10時30分～11時(対象:0歳～2歳)
 毎週土曜日 10時30分～11時(対象:幼児～小学生)
 定員:5組程度(先着順・申し込み不要)

FMラジオで市の情報を発信中

FMラジオ 83.5MHz (http://oosaki-fm.or.jp/) 月～金曜日 ①7:30～7:35 ②12:00～12:05 ③17:50～17:55 土曜・日曜日 ①8:00～8:10 ②12:00～12:10 ③19:00～19:10

8月の移動図書館「きらり号」

古川地域	3日(水)・17日(水)	9:45～10:30 清滝地区公民館
松山地域	5日(金)・19日(金)	9:50～10:35 松山駅前区集会所
	12日(金)・26日(金)	11:10～11:55 下伊場野水辺の楽校駐車場 9:50～10:35 松山公民館
三本木地域	5日(金)・19日(金)	13:40～14:25 三本木総合支所駐車場 14:50～15:40 南谷地集会所
	鹿島台地域	12日(金)・26日(金)
岩出山地域		10日(水)・24日(水)
	3日(水)・17日(水)	11:00～11:45 真山地区公民館 13:40～14:25 有備館の森公園駐車場 14:50～15:35 ウジエスーパー岩出山店
鳴子温泉地域	10日(水)・24日(水)	10:10～10:55 鳴子総合支所駐車場 11:20～12:05 川渡地区公民館
	25日(水)	10:40～11:25 鬼首地区公民館 13:05～13:50 中山コミュニティセンター 14:15～15:00 湯めぐり駐車場
田尻地域	2日(水)・16日(水)・30日(水)	10:35～11:35 大貫地区公民館 13:05～14:00 沼部公民館 14:25～15:20 ウジエスーパー田尻店

※悪天候などの事情で、運行を中止・変更する場合があります。

Osaki Culture

おおさきカルチャー

おおさき文化を創るいろいろなもの。本、音楽、スポーツ、こころを豊かにする遊びの情報をお届けします。

大崎市役所新庁舎屋内広場の愛称

「パタ崎さん家」に決定

政策課庁舎整備調整担当 ☎23-2129

パタ崎さん家へ行こう!



▲新庁舎東側が「市民交流エリア」

ここが市民交流エリアだよ!



市民交流エリア1階の「屋内広場」は、屋外との一体的な利用が可能です。テーブルやベンチを設置した休憩場所として、マルシェや展示会などのイベント開催場所として、市民の交流や賑わいの場となります。また、災害時には、来庁者の一時的な避難場所や被災者支援の活動拠点として機能します。



▲開放感のある屋内広場「パタ崎さん家」内観イメージ



▲新庁舎屋内広場愛称審査委員会

令和5年5月供用開始予定の大崎市役所新庁舎に設置する「屋内広場」の愛称が決定しました。愛称の募集には、6歳から96歳まで幅広い年代から128名の応募がありました。6月24日に開催した新庁舎屋内広場愛称審査委員会で「親しみやすさ」や「分かりやすさ」「オリジナリティ」などを踏まえて選考した結果、「〇〇さん家へ行こう」という身近で親しみのある感じにしたい、大崎市のすてきなイメージを広めたい、パタ崎さんをもっと世間にPRしたい」との思いで考えられた。「日常、何気なく使っている『〇〇さん家へ行こう』という身近で親しみのある感じにしたい、大崎市のすてきなイメージを広めたい、パタ崎さんをもっと世間にPRしたい」との思いで考えられた。

審査委員からは、「親しみを呼んでもらえる、子どもから大人まで楽しんでもらえる」「ユーモアがあり、つい口にしたくなる」「イベント会場が『パタ崎さん家』とポスターなどに記載されたら、ほっこりする」などの意見がありました。

屋内広場「パタ崎さん家」を含む市役所新庁舎が、皆さんに長く愛される、身近で親しみやすい施設となるよう、引き続き新庁舎の整備を進めていきます。

た、「パタ崎さん家」が最優秀賞に決定しました。最優秀賞受賞者は、大崎市内古川地域在住の農業 加藤栄徳氏です。